

日本郵政入時より午後四時迄左記
の時刻を以て管内の寄附金に對し
大規模の募金活動を行はるる等
△六月一日 東京府 寄附金
△六月二日 東京府 寄附金
△六月三日 東京府 寄附金
△六月四日 東京府 寄附金
△六月五日 東京府 寄附金
△六月六日 東京府 寄附金
△六月七日 東京府 寄附金
△六月八日 東京府 寄附金
△六月九日 東京府 寄附金
△六月十日 東京府 寄附金
△六月十一日 東京府 寄附金
△六月十二日 東京府 寄附金
△六月十三日 東京府 寄附金
△六月十四日 東京府 寄附金
△六月十五日 東京府 寄附金
△六月十六日 東京府 寄附金
△六月十七日 東京府 寄附金
△六月十八日 東京府 寄附金
△六月十九日 東京府 寄附金
△六月二十日 東京府 寄附金
△六月二十一日 東京府 寄附金
△六月二十二日 東京府 寄附金
△六月二十三日 東京府 寄附金
△六月二十四日 東京府 寄附金
△六月二十五日 東京府 寄附金
△六月二十六日 東京府 寄附金
△六月二十七日 東京府 寄附金
△六月二十八日 東京府 寄附金
△六月二十九日 東京府 寄附金
△六月三十日 東京府 寄附金
△六月三十一日 東京府 寄附金
△七月一日 東京府 寄附金
△七月二日 東京府 寄附金
△七月三日 東京府 寄附金
△七月四日 東京府 寄附金
△七月五日 東京府 寄附金
△七月六日 東京府 寄附金
△七月七日 東京府 寄附金
△七月八日 東京府 寄附金
△七月九日 東京府 寄附金
△七月十日 東京府 寄附金
△七月十一日 東京府 寄附金
△七月十二日 東京府 寄附金
△七月十三日 東京府 寄附金
△七月十四日 東京府 寄附金
△七月十五日 東京府 寄附金
△七月十六日 東京府 寄附金
△七月十七日 東京府 寄附金
△七月十八日 東京府 寄附金
△七月十九日 東京府 寄附金
△七月二十日 東京府 寄附金
△七月二十一日 東京府 寄附金
△七月二十二日 東京府 寄附金
△七月二十三日 東京府 寄附金
△七月二十四日 東京府 寄附金
△七月二十五日 東京府 寄附金
△七月二十六日 東京府 寄附金
△七月二十七日 東京府 寄附金
△七月二十八日 東京府 寄附金
△七月二十九日 東京府 寄附金
△七月三十日 東京府 寄附金
△七月三十一日 東京府 寄附金
△八月一日 東京府 寄附金
△八月二日 東京府 寄附金
△八月三日 東京府 寄附金
△八月四日 東京府 寄附金
△八月五日 東京府 寄附金
△八月六日 東京府 寄附金
△八月七日 東京府 寄附金
△八月八日 東京府 寄附金
△八月九日 東京府 寄附金
△八月十日 東京府 寄附金
△八月十一日 東京府 寄附金
△八月十二日 東京府 寄附金
△八月十三日 東京府 寄附金
△八月十四日 東京府 寄附金
△八月十五日 東京府 寄附金
△八月十六日 東京府 寄附金
△八月十七日 東京府 寄附金
△八月十八日 東京府 寄附金
△八月十九日 東京府 寄附金
△八月二十日 東京府 寄附金
△八月二十一日 東京府 寄附金
△八月二十二日 東京府 寄附金
△八月二十三日 東京府 寄附金
△八月二十四日 東京府 寄附金
△八月二十五日 東京府 寄附金
△八月二十六日 東京府 寄附金
△八月二十七日 東京府 寄附金
△八月二十八日 東京府 寄附金
△八月二十九日 東京府 寄附金
△八月三十日 東京府 寄附金
△八月三十一日 東京府 寄附金
△九月一日 東京府 寄附金
△九月二日 東京府 寄附金
△九月三日 東京府 寄附金
△九月四日 東京府 寄附金
△九月五日 東京府 寄附金
△九月六日 東京府 寄附金
△九月七日 東京府 寄附金
△九月八日 東京府 寄附金
△九月九日 東京府 寄附金
△九月十日 東京府 寄附金
△九月十一日 東京府 寄附金
△九月十二日 東京府 寄附金
△九月十三日 東京府 寄附金
△九月十四日 東京府 寄附金
△九月十五日 東京府 寄附金
△九月十六日 東京府 寄附金
△九月十七日 東京府 寄附金
△九月十八日 東京府 寄附金
△九月十九日 東京府 寄附金
△九月二十日 東京府 寄附金
△九月二十一日 東京府 寄附金
△九月二十二日 東京府 寄附金
△九月二十三日 東京府 寄附金
△九月二十四日 東京府 寄附金
△九月二十五日 東京府 寄附金
△九月二十六日 東京府 寄附金
△九月二十七日 東京府 寄附金
△九月二十八日 東京府 寄附金
△九月二十九日 東京府 寄附金
△九月三十日 東京府 寄附金
△九月三十一日 東京府 寄附金
△十月一日 東京府 寄附金
△十月二日 東京府 寄附金
△十月三日 東京府 寄附金
△十月四日 東京府 寄附金
△十月五日 東京府 寄附金
△十月六日 東京府 寄附金
△十月七日 東京府 寄附金
△十月八日 東京府 寄附金
△十月九日 東京府 寄附金
△十月十日 東京府 寄附金
△十月十一日 東京府 寄附金
△十月十二日 東京府 寄附金
△十月十三日 東京府 寄附金
△十月十四日 東京府 寄附金
△十月十五日 東京府 寄附金
△十月十六日 東京府 寄附金
△十月十七日 東京府 寄附金
△十月十八日 東京府 寄附金
△十月十九日 東京府 寄附金
△十月二十日 東京府 寄附金
△十月二十一日 東京府 寄附金
△十月二十二日 東京府 寄附金
△十月二十三日 東京府 寄附金
△十月二十四日 東京府 寄附金
△十月二十五日 東京府 寄附金
△十月二十六日 東京府 寄附金
△十月二十七日 東京府 寄附金
△十月二十八日 東京府 寄附金
△十月二十九日 東京府 寄附金
△十月三十日 東京府 寄附金
△十月三十一日 東京府 寄附金
△十一月一日 東京府 寄附金
△十一月二日 東京府 寄附金
△十一月三日 東京府 寄附金
△十一月四日 東京府 寄附金
△十一月五日 東京府 寄附金
△十一月六日 東京府 寄附金
△十一月七日 東京府 寄附金
△十一月八日 東京府 寄附金
△十一月九日 東京府 寄附金
△十一月十日 東京府 寄附金
△十一月十一日 東京府 寄附金
△十一月十二日 東京府 寄附金
△十一月十三日 東京府 寄附金
△十一月十四日 東京府 寄附金
△十一月十五日 東京府 寄附金
△十一月十六日 東京府 寄附金
△十一月十七日 東京府 寄附金
△十一月十八日 東京府 寄附金
△十一月十九日 東京府 寄附金
△十一月二十日 東京府 寄附金
△十一月二十一日 東京府 寄附金
△十一月二十二日 東京府 寄附金
△十一月二十三日 東京府 寄附金
△十一月二十四日 東京府 寄附金
△十一月二十五日 東京府 寄附金
△十一月二十六日 東京府 寄附金
△十一月二十七日 東京府 寄附金
△十一月二十八日 東京府 寄附金
△十一月二十九日 東京府 寄附金
△十一月三十日 東京府 寄附金
△十一月三十一日 東京府 寄附金
△十二月一日 東京府 寄附金
△十二月二日 東京府 寄附金
△十二月三日 東京府 寄附金
△十二月四日 東京府 寄附金
△十二月五日 東京府 寄附金
△十二月六日 東京府 寄附金
△十二月七日 東京府 寄附金
△十二月八日 東京府 寄附金
△十二月九日 東京府 寄附金
△十二月十日 東京府 寄附金
△十二月十一日 東京府 寄附金
△十二月十二日 東京府 寄附金
△十二月十三日 東京府 寄附金
△十二月十四日 東京府 寄附金
△十二月十五日 東京府 寄附金
△十二月十六日 東京府 寄附金
△十二月十七日 東京府 寄附金
△十二月十八日 東京府 寄附金
△十二月十九日 東京府 寄附金
△十二月二十日 東京府 寄附金
△十二月二十一日 東京府 寄附金
△十二月二十二日 東京府 寄附金
△十二月二十三日 東京府 寄附金
△十二月二十四日 東京府 寄附金
△十二月二十五日 東京府 寄附金
△十二月二十六日 東京府 寄附金
△十二月二十七日 東京府 寄附金
△十二月二十八日 東京府 寄附金
△十二月二十九日 東京府 寄附金
△十二月三十日 東京府 寄附金
△十二月三十一日 東京府 寄附金

ビールを召し上りますなら

産國サツポロビール



をた飲み下ささいサツポロビールは日本
で支那南洋印度は申すに及ばず遠く埃及
亞弗利加の端々までも賣行き盛に日本商
品の真價を揚げて居ります何卒此の上と
も皆様の御同情と御後援に依り益々海外
發展の實を擧げたいと存します切に大方
各位の御聲援を御願ひ申上ます

サツポロアサヒエビスビール醸造元

大正六年六月 日

大日本麥酒株式會社

京城出張所

第一百七十六席

二に
 登りて
 箱根山に登りて石の權根に參詣をな
 し又御なぞを見物なかりて箱根を下
 りしと云ふ
 七の
 高峯を眺め吉原藤原井興津江
 原府中まで参りました處が常所は龍
 頭山縣城先頃まで父大納言忠
 長が在成して置つた所朝心得速
 ひをして五十六萬石は改易なり高
 崎城にて切腹此の身は天地の間に
 住上所もなく轡圖を渡わしたてに迷
 ひ歩く淺間さへ涙に奪れて暫し休
 りて居た所然に居つた三宅玄兵衛
 監田守平次次郎の喉へ矢に腕を置し

[illegible]

酒を飲せたら上野鮎次郎論を加へまし
たから非人共は憎むの涙に暮れて
立去りました、飲り馬鹿氣たうで
はありますが是は稻葉丹後守を罵
詈かす爲にした事でございします
四五日間御滞在あつたが茲を出立し

明治
電話二六〇
浪花館
女流浪界の泰斗廣澤夏菊一行
今夏又、新道遊名妓若江特別興行として開演
後藤又一郎(菊若君) 經國院院長兵衛
(菊六) 小栗判官 吉田宗良子
兩城(京山相生) 義士傳博徳丸(夏菊)
東田小林會澤幹代 手代理約
東京二ツサシヤ會社特約
早川演藝部
有樂館

[illegible]

新派劇部 御成座
 二番目 依佐正 君三郎
 三番目 石野正 君三郎
 四番目 石野正 君三郎
 五番目 石野正 君三郎
 六番目 石野正 君三郎
 七番目 石野正 君三郎
 八番目 石野正 君三郎
 九番目 石野正 君三郎
 十番目 石野正 君三郎
 十一番目 石野正 君三郎
 十二番目 石野正 君三郎
 十三番目 石野正 君三郎
 十四番目 石野正 君三郎
 十五番目 石野正 君三郎
 十六番目 石野正 君三郎
 十七番目 石野正 君三郎
 十八番目 石野正 君三郎
 十九番目 石野正 君三郎
 二十番目 石野正 君三郎
 二十一番目 石野正 君三郎
 二十二番目 石野正 君三郎
 二十三番目 石野正 君三郎
 二十四番目 石野正 君三郎
 二十五番目 石野正 君三郎
 二十六番目 石野正 君三郎
 二十七番目 石野正 君三郎
 二十八番目 石野正 君三郎
 二十九番目 石野正 君三郎
 三十番目 石野正 君三郎
 三十一番目 石野正 君三郎
 三十二番目 石野正 君三郎
 三十三番目 石野正 君三郎
 三十四番目 石野正 君三郎
 三十五番目 石野正 君三郎
 三十六番目 石野正 君三郎
 三十七番目 石野正 君三郎
 三十八番目 石野正 君三郎
 三十九番目 石野正 君三郎
 四十番目 石野正 君三郎
 四十一番目 石野正 君三郎
 四十二番目 石野正 君三郎
 四十三番目 石野正 君三郎
 四十四番目 石野正 君三郎
 四十五番目 石野正 君三郎
 四十六番目 石野正 君三郎
 四十七番目 石野正 君三郎
 四十八番目 石野正 君三郎
 四十九番目 石野正 君三郎
 五十番目 石野正 君三郎
 五十一番目 石野正 君三郎
 五十二番目 石野正 君三郎
 五十三番目 石野正 君三郎
 五十四番目 石野正 君三郎
 五十五番目 石野正 君三郎
 五十六番目 石野正 君三郎
 五十七番目 石野正 君三郎
 五十八番目 石野正 君三郎
 五十九番目 石野正 君三郎
 六十番目 石野正 君三郎
 六十一番目 石野正 君三郎
 六十二番目 石野正 君三郎
 六十三番目 石野正 君三郎
 六十四番目 石野正 君三郎
 六十五番目 石野正 君三郎
 六十六番目 石野正 君三郎
 六十七番目 石野正 君三郎
 六十八番目 石野正 君三郎
 六十九番目 石野正 君三郎
 七十番目 石野正 君三郎
 七十一番目 石野正 君三郎
 七十二番目 石野正 君三郎
 七十三番目 石野正 君三郎
 七十四番目 石野正 君三郎
 七十五番目 石野正 君三郎
 七十六番目 石野正 君三郎
 七十七番目 石野正 君三郎
 七十八番目 石野正 君三郎
 七十九番目 石野正 君三郎
 八十番目 石野正 君三郎
 八十一番目 石野正 君三郎
 八十二番目 石野正 君三郎
 八十三番目 石野正 君三郎
 八十四番目 石野正 君三郎
 八十五番目 石野正 君三郎
 八十六番目 石野正 君三郎
 八十七番目 石野正 君三郎
 八十八番目 石野正 君三郎
 八十九番目 石野正 君三郎
 九十番目 石野正 君三郎
 九十一番目 石野正 君三郎
 九十二番目 石野正 君三郎
 九十三番目 石野正 君三郎
 九十四番目 石野正 君三郎
 九十五番目 石野正 君三郎
 九十六番目 石野正 君三郎
 九十七番目 石野正 君三郎
 九十八番目 石野正 君三郎
 九十九番目 石野正 君三郎
 一百番目 石野正 君三郎

口演藝案内
壽
 京城番町
 電話五七八番
 東京俳優松平正須磨子一行
 六月十三日（日）起正座開演
 中村錦太郎氏特別出演
 新劇前者「一掃」
 次「家来侍」次「お茶屋の女」次「吉野節」次「古
 家来」次「お茶屋の女」次「吉野節」次「古

[illegible][illegible]

酒煙草きらい
禁酒丸 禁煙液

[illegible][illegible]

で 返 郎

の殺せんとす偶然後倭との奇應仕懸の好意細の姉
の普助しなし

大坂市西區新町通二丁目
 本家 田知本和三郎謹製
 各藥店に販賣す 總督大坂二八八番

ライオン煉歯磨

上中流の紳士

御婦人方のお使い
遊ばす齒磨は


高尚斬新の

ライオン煉歯磨

で御座います。

- 第一 上品で衛生的な事、
- 第二 使ひ心地がよくて、清浄する事、
- 第三 使用に便利なる事、
- 第四 携帯に都合よい事、
- 第五 容量が多くて徳用な事、

右の特長に基いてゐるので御座います。



ライオン煉歯磨定額表

ニッケル大筒	金貳拾五圓
ニッケル小筒	金拾五圓
サニトール入	金貳拾六圓

(791-0)

[illegible]

[illegible][illegible]

三隋唐及び五代の工業（其二）

三隋唐及び五代、
の工業（其一）
は南北を統一し、政治も宜し
從つて物資も殷阜となつた。
の開皇十六年に商工の仕進を
をしたので、商工に影響する
多大であつた。

時局は實戰に訴ふる虞なし
結局は南北兩派の互譲妥協

時局は實戰に訴ふる虞なし
 結局は南北兩派の互譲妥協
 復辟問題は未だ時機に非
 じ小松藩氏

予は泰然に著
 へらるゝ處なるは予の

出兵の目的

所謂日支親善

いふやうに、しんぜん
所謂日支親善
文親善といふ言葉ほど、通俗で
形式的な辭令はあゝるまい。口
に即ち目に善言ふので
日本人も親善を稱へれば、支

日本麥酒會社京城出張所

日本麥酒會社京城出張所より本文の記者は初日壽座の新劇を観覧するを得た言へば先年此座の演じたる劇を見て、其主人公の病状

六月廿八日
 午前八時
 信
 城津より

は國經極の片に滑ひて航行致し、
 分毫々津の港に到着、自餘船が波
 より暴風雨の風や烈しく、波
 々々ば玉を散らして、餘船は今に一日
 際定に有之候間、肝心の到着を待ち
 舟を全無損に如意を表し、次で
 船所、貿易組合等をお説仕候

あり、大に現實生活に觸るゝ
るを感じ、初めて藝術座存在

あり、大に現實生活に觸るゝ
るを感じ、初めて藝術座を
を理解するを得たり。記者
の「お茶」の中に現はるゝ
故に「お茶」の中にあるもの
めんとするの精神に共鳴せ

東京に於ては今や、為伎

藝術歴は僅に孤獨を守り、
 興の日の來るを待ちつゝあ
 劇俳優諸氏の技巧決して舊
 劣るに非ず、否其知識に於
 於て彼等に優るものありや
 斯の如くなるもの果して伊

何を贈るべきか!!之を即決するには

1950年12月1日

賣出期間
自大正六年六月十五日
至大正六年七月十四日

抽籤期日 七月二十日

抽籤場所
東京城
東亞煙草總販賣所

引換期日
自大正六年七月廿一日
至大正六年七月三十日

Figure 1

敦島
朔日

百子圖

一、每

11

景品種類

壹等 白米壹石宛 五

實等 明日一ポル宛 百

四本 數島壹包苑 一千三

五等 及は千圓 壹包宛 七千五

2000

東洋の煙草
一番

何を選ぶべきか!!之を即決するには――

東亞煙草株式會社京城總販賣所

驅逐艦 柿魚形水雷を受く
死傷者艦長以下七十三名

▲海軍省第二公報 十四日午前中に到着せる報告に依れば我が死傷者は左の如し(東京特電)
▲戦死神驅逐艦長海軍少佐上原太一、機關長海軍機關少佐竹垣純信、上等兵曹阪見袈裟一、上等機關兵曹吉田末廣、同三浦光雄、下士卒五十四名▲重傷者海軍大尉庄司彌一外下士卒七名▲輕傷者下士卒六名

希臘皇帝コンスタンチン陛下は位を退き皇太子アレキサンダーと共に國外に去る事となれり(附註「昨夕刊所載「希臘國王讓位」」)と本文と矛盾す姑く記して後報を俟つ

要は憲法を速定するにあり

十二日明命官にて伍廷芳氏の國務總理代理兼議定を免じ李鴻章氏の著任迄を以て
江朝宗氏を總理代理に特任し其の副署を以て國會解散命令を發したる事
は歐國の如くたる其の命令文左の如し（北京特電）
昨年六月本大總統は申令を以て憲法制定は專ら國會に依つて開國五年憲法制定
未だ定まらず大本樹たす速かに國會を召集して憲法を速定すべしと言明し
せしに依りて本期の國會召集は専ら憲法の制定を爲すを以て要請とせ
賢に吉林督軍王恩道等より開陳して曰く憲法會議及び憲法會議通過の（此レ
の間七飛電文不明）衆議院國務員決議を爲せし時大總統は國務員の職なる
死に或は飛電文を解散す惟解散の時を發議した同意を得し大總統は國務
國務總理任命は國務員の副署を要せし又兩院議決案と法律とは同等の効
力を有すと（此の間七飛電文不明）に屬す各國の例に據るに憲法は國會
に依りて議定せむ故に我國にも最良の憲法を得んと欲せば根本的に於て
正せざるべからず國會は固より重し然れども是を國家に比すれば國家軍
に重し今日の國會は既に國家の爲めとならず依つて輕重を計り獨斷して
て衆衆兩院を解散し別に國會を組織して憲法を議せしめんとす斯くして
共和政體を永遠に保障し得しべし而して近日全國軍政署及び各省より同
様の請願あるべき要するに兩院組織の憲法會議は將に一年に至らん
して未だ成らず現在時局困難千鈞一髮の際憲法會議案を修正せんと欲
るる議員類々辭職し人員不足にて其の要を得ず他に辦法を講ずるに非
れば各人をして憲法制定の希望を滿す能はず依つて本大總統は輿論に従
ひ國體を拯ふ爲め憲法會議の請願を解散し衆衆兩院を即日解散し直に
憲法を爲さむべし而して今この國會解散の本旨は憲法を速定するにあ
て立法機關を取消したるにあらず

時局は一段落を告げたるが如きも實は益々紛

職會解散命令にて時局は一段落を告げたるが如きも實は益々紛糾

政府は臺灣朝鮮、關東東亞及び韓土に於ける行政上の統一を圖るの目的を以て新に拓殖局を設置す可く夫れを閣議にて決したれば來

山縣公爵賀蒞
山縣公は十四日、白樺山莊に八十回
誕辰の賀進を限り寺内首相、清浦權
相院副議長、其他百四十一名の朝野の
貴族及び婦親戚進を招き午後五時宴
を開きたるが、種々の餘興もあり盛會な
りき（東京特電）

浦鹽港の寂寥
世傳大連川の海底電線開設（二）朝野
經由は陸奥、瀋陽間海底線によるか
二者の比較研究をなせし結果
▲經費の關係
線に依るに略決して瀋陽省、鐵嶺省、
府廳監督局と略々打合せしと多少分
大正七年度都督府豫算に計上すべし
と云ふが、其の内容は下開、釜山間を
遼陽省に、又釜山、新天町を關東都

●**哈埠滯貨と朝郵**
 哈埠滯貨、朝郵の爲めに日露商業會社
 と哈埠郵政局との間に大豆、大豆二千
 噸の郵便物あり、第一大豆、大豆二千
 噸の貨物であるが、
 是れは特別に電柱をたてず、郵便局所寄
 電柱によるもの、如し尙ほ有線電報
 是れは多分自動中継器を用ゐ、大連、東京
 間の直通であるが、
 朝郵の線は、
 要するに朝郵の線は、
 郵便物の線は、
 郵便物の線は、

十四日の入電に依れば哈爾濱に於ける大豆は、
百四十九萬豆箱九千三百箇を平販力に積み來り元山にて接續輸送す
(元電特電)

●留相場大暴落

●徵稅成績良好

三月末現計に依る鮮肉徵稅成績を見るに云ふ如し

朝鮮經由電線
て、せんにけい、じんせん
市街地税 額三圓三二一、一四九圓收入
正より其の收入歩合九割九分一厘をせり
△戸税 額定額八〇圓、六五圓に酌するもの

増設の計畫

滿洲内地域を往復する電報は現に滿洲を南北に隔斷し大石橋以南は佐世保大連北へ電信線によつて大石橋以北は朝鮮の電線を経過してつゝあるが最近滿洲各界の管展に伴ひ電報多數の増設を著しきものあり現に大石橋以南に屬する地盤の發達は

入滿額 〇四五・九二九 元満額は九一四・八二九 元其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●家屋税 前定額三九六 元九二九 元にして其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●所得税 前定額 二九、七四四 圓に對する其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●酒税 前定額 五五・七四四 圓に對する其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●煙草税 前定額 五五・七四四 圓に對する其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●鹽稅 前定額 五五・七四四 圓に對する其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●入滿額 〇四五・九二九 元満額は九一四・八二九 元其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●家屋税 前定額三九六 元九二九 元にして其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●所得税 前定額 二九、七四四 圓に對する其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●酒税 前定額 五五・七四四 圓に對する其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●煙草税 前定額 五五・七四四 圓に對する其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

●鹽稅 前定額 五五・七四四 圓に對する其の増入は九・九六九 元分増額は三・八八一 元 即ち前年比 三〇・〇〇〇 元にして

其の發受困難にて電信係員は殆んど
勞々佐保大連間海底線のみにては
七四二、七六六の郵便は、収入計一三、四四六
一三五五を未納し之にて不精甚なり
を檢除せよと發給しは二〇、七六六に達する
收入歩合九割一分の成績を示せり、尙ほ三月
末迄に九割以上を達成せしむるべし

晝夜間斷なく之れに従事せざれば其
の處刑をなし得ず從つて電報遲延は
免れざる關係にあり若し其の海底線
に成程を敷くれば其の爲に十餘

ては之れが應急の設備として(一)佐州間慶州浦項間は過日工事施行の如

ては之れが應急の設備として(一)佐州間慶州浦項間は過日工事施行の如

豊饒なる良農陶士の爲め近來頗る其
名を喧傳さるゝに至りし咸北鏡城郡
野生部懷炭嶺にては目下二百數十名
級より十五名宛合計三千名の評議員
全部の改選を執行する筈なりと

堀に從事し居れるが陶土の販路は主として内地にして目下内地に於て賣買契約交渉中の由なるが銚子木節陶土共に全鮮は勿論内地にも多く比を見ざる良質の陶土粘土にして既に枝刈製煉所松風陶器會社等に出荷したりと而して梱包は十七個一噸の以

●府税滯納多し 大正六年第
一期府税の法定納期も已に経過したれば當局は本月下旬之れが督促狀大約一萬五千通を發送すべく其準備中なるが前年同期の督促狀發付數約一萬九千通に比較すれば些か良好な

て清涼者くは獨津に擲出し居れるも
同所の計畫にては近く機械の据付を
成績を發見するを得ず而かも動もす
れば鮮人に比し却て内地人の成績良

◎ 涙を呑んで最後の策を採る
黎總統の電告「大局定まらば」

に原情に來て立憲を宣し終はざるに創念なき可き國 會俱留に來て憲法に
附し各情より盛んに解議を迫るるを以て、約法に解散の明文を以て
法律を嚴密し得ずし解し居りしが、之れが爲に各省の軍隊近畿に迫り天津
に總參謀署を設けし各所に命令し猶臨時政府を組織し續いて復辟說等傳
に布して人心浮動す此の朕安微督軍張勳、湖北來して調停を爲し候會解散を

前々若し命令を發せざれば、實告は日行行動を執るやと知れずその事なる
 より斯くては生號塗炭に苦し、延々と外國の干渉を受けるに至り終に東
 歐の慘を受けるに手に入ら依りて共和國體を保存し近畿の人民を保全し南北統一を保持する爲め已むなく國
 會解散り命令を發し叛を告いで一門の策を案たり而して予は

日滿電線増設

以て遜信省及び朝鮮總督府と交渉し
東京大連ハ朝鮮經由ハ五通電線架設中

關東都督府の計畫

關東都督府にては日滿間電報激増し現今の線のみにては不足を告ぐるを爲すと共に規模を擴張し一箇月石炭一千噸附土三千五百噸を内地に輸出する豫定にて元山より獨逸迄の鐵道は近々中に布設さるべき模様なるべし

之に先も獨逸に附土三百噸を容るべくせしが此の總數七十三萬圓を要すと(東京特電)

如ならざる有様にて朝鮮の主帥たる京城の面目上厭ふべき現象と云ふ可なり

立花師團長招宴 立花師團長は十四日午後七時より官城記者團の賓なる者を千代本に招けり

●ス博士入京　市俄古大(シベリヤ)大學教授ノ博士ハ十四日夜入京山本(ヤマモト)虎造(トラゾウ)氏(タニ)等(トウ)ト會見セリ

●鮮鐵收入新記錄 鮮鐵六
月月上旬の運輸收入は客車收入十三萬
●菊池謙讓氏來鮮 東洋煙草
製造株式會社代表者菊池謙讓氏は十
方會一封信に

因りて組織せる同會社の設立許可申

因りて組織せる同會社の設立許可申

に就き、速に認可を得べき陳情を爲すべく、同氏は十四日午後七時發、列車にて京城に向ふ。

[illegible]

▲藤井 眞一 氏は、根拠を以て、▲中野 聰氏
(同参事員会) 十四日朝、東京
橋正弘氏(都新聞記者) 同上

主馬ノ住所、大正六年六月五日、華川
郡内、面下里、西四拾貳日、登記
右大正六年六月拾貳日、登記

京 城 春 川 支 廳

南言北語 何と云つても今
 の支那では僞勳將軍が一番の大立物
 だ 各督軍等は大使と呼んで事實支那
 人事請負 京城府
 一順化院附新築及増築工事
 本月式物拾二午前拾時
 詳細ハ會計係ニ就キ照合スヘシ

大體男の人の様な言動があつて何
でも眼馴將軍云へば早やもつかみ
掛り相に憑つて居るらしいが▲成る
程老人の常として疵癢が強いので立

朝鮮總督府
以後ノ朝
右時賢ノ
紅參人第
總督府官
報ヲ見ヨ
一萬五千
四百箇
五百箇

吸入瓦斯機關

腹すれば時は、遊場も出し兼ねぬけれど、平生は極楽直な優しい人である
 ▲外國語は無論、諸事も記す事もなく、宛もするとも無學を耻づ云つて居るけれど、▲實際は立派な支那の學者で、殊に史學に通じ、其の博識は、電氣モートル
 汽機、機、罐、新製品、古物、品、目録、無代、進呈、御覽、入、一、應、御、出、洋、下、上、品、御、覽、下、上、品、御

ない▲居常身を持する極めて質素で衣服なども垢か付いて少々臭氣位發しても口氣で著て居る▲都下を愛す

星録目錄

時計商
正午堂
電話長三〇〇番

る輩は非常なもので士卒と艱苦を共に
にして差別を附けぬから人望は頗る
宜しい▲固より政治家と云ふ程では
ないが奇略もあり人を使ふのにも却
々の手腕を以て居る▲未だに依然支
那服の装束であるが何處迄も武人
であつて復讐は必ず近き將來に出來
るものと信じて居るらしい▲だが部下
には洋行歸りの新知識を濫山使つて

りあ藏土

蠶繭 生糸、屑物
高價買入
龍山漢江通八番地
分河原繭糸店
電話長四二一番

土ちや

了別冊

内外の優男が多く中には十五六歳の
 けれど、▲實際は全く之に反し二十歳
 以上であるが、
 全
 ◎社員募集(日鮮人)
 ▲古賀市古賀町三丁目王様茶店、來規

紅顔の美少年も深川混つて居る▲が矢張り將軍の部下だけに美少年軍も時に暴行はやる▲今度天津へ来た將士

朝鮮台灣
明治公債株式會社
營業本部

之から更に見物だと某支那通の戯言
東京牛込區北山伏町二帝國美髮女學院

之から更に見物だと某支那通の戯言
東京牛込區北山伏町二帝國美髮女學院

營業品科目
スレツパー
麻裏草履
表附雪駄
履物一式
●商品目錄送呈す
大阪市南御堂前
履物 同屋
米谷新助
電話東四五一番
振替大阪五八八番

眼鏡製作

九金細ズル 六五〇〇
 九金新緑ナワ一匁五分八 七九〇〇
 十四金同一匁三分八 八七九〇
 十六金同一匁二分八 八六九〇
 二十金同一匁一分二 八六〇〇
 廿二金 同一匁 八四〇〇
 十八金緑ナシ玉付 八〇〇〇

[illegible]

中村メガネヤ
電話千百十七番 振替京城三四六番
金鈴香水
香り麻しき
金鈴香水
金鈴香水

金鈴香油

松田竹の島人作

A black and white illustration of a man and a woman in traditional Japanese clothing. The woman is kneeling on the left, looking down with a sad expression. The man is kneeling on the right, looking towards her. They are in a simple outdoor setting.

[illegible][illegible]



之ヲ連用スルモ毫モ胃
テ尿中ニ分泌シ尿量ヲ

淋疾内服用

ズ

本劑ハ「ヘキサメチー
結合セシメタル新化合

消化と
毒けし



毒

ホツくこ
あぐねき、りうかい
悪疫の流行
いふせき、たふし、
時分誰方も仁丹召上り
ごようじん、けんよう
御用心わ肝要!!

急慢性
腸胃
字野
士ハ
表セ
末及
設各

レントラアミン」ト開酸トラ
機ニシテ「バルサム劑ト異リ

腸ヲ害セズ容易ニ吸収セラレ
増加シ且殺菌作用偉大ナリ。

御座る様の御最負も
御最です
澤之鶴
ばかりは




特約

本城京
 町牧藤佐
 商九二話電

江漢山龍
 支牧藤佐
 二四話電

慢性、淋疾及消渴、
 尿道加答兒ニ管用ス
 博士精方博士櫻根博
 本剤ノ治驗報告ヲ發
 ラレタリ。 本剤ハ粉
 錠劑アリ。

地有名藥舖ニアリ
 明書遣呈ス

東京室町

三共株式會社



金言
 社會の利
 益を進歩
 するは一
 個人は最
 大利益
 スマイルス

[illegible][illegible][illegible]


天下一品

猪印

金牌受領

INSECT POWDER

吹出散布器入
 定價 金二十錢
 立鑲入 金十錢、金五錢
 到ル處ニ販賣店アリ



等退治
 減する事請合

治門元元元門○
 大創

[illegible]